

	取り組み	課題・現状	実施時期	実施状況	担当
継続	<p>① 住民主体の見守り・支え合い座談会in日の出倉沼地区</p>	<p>現在 見守りの体制や連携の構築が図れた。 支え合いの仕組みについて、個人の繋がりによって一部住民が支援を行っている状況。アンケートにて除雪・草刈りに関して困っている方が多いことを把握した。</p> <p>課題 一部の担い手が行うには、負担が過多になる可能性が高い。地域全体が互いに支え合う(できることを負担なく行う)仕組み・体制が必要。</p>	R6年9月27日	<p>当初の会費足の目的でもあった見守りの体制・連携の構築は計られた。支え合いの仕組みについては、組織化することの負担が大きいく、現実的ではないため個々の支援者が個別に対応を継続していく。</p> <p>今後 地域だより等で支援者の活動を地域に発信し、困っている方と担い手をつなげていく。支援者の発掘を地域として行っていく事となり、まち協の事業としては、今年度で終了とする。</p>	荒内氏
継続	② 住民主体の支え合い(移動支援)座談会in旭正地区	<p>現在 交通手段が限られる地域。 バス停まで歩けなくなったり、車がないと生活に困る。</p> <p>課題 買い物や集いの場に参加するにあたり移動の課題がある。</p>			小西氏
新規	③ 住民みんなで行いたいこと・出来たらしいなと思うことについて意見交換会 東部老人福祉センター(中央地区)にて、介護予防(栄養・認知症など)の取り組み	<p>現在 意欲のある人はすでに外に出て何かしらしている。</p> <p>課題 出てこない人たちへの働きかけが必要。 どんなことに興味があるのかを模索することが改めて必要。 (健康の維持や認知症について) 馴染みのある東部老人福祉センターでの取り組みを検討する。</p>	R6年9月13日	<p>東部老人福祉センター(中央地区)にて実施。映画にて認知症についての理解・関わり方の理解が周知された。座談会では、できたら良いと思うことの見聞が多数出た。</p> <p>今後 住民主体で実現できるよう動いていく。 10月29日に第2回目を実施予定。 何でも懇談会について、地区毎で実施予定。</p>	勝瀬館長
新規	④ 地域検討部会「空き家について」	<p>現在 米原瑞穂地区では空き家が増えている、市民委員会としては何かしないといけないと思いい、出来ることを検討していきたい。 *旭正地区・豊田地区でも同じ状況。</p> <p>課題 ・所在不明の空き家・老朽化した空き家、空き家にある木の対応等。 ・空き家を売却するにも、農地法の絡みで簡単に売却できない。 ・空き家を把握した後、どのような動きをしたらよいか？などを知りたい。</p>	R6年8月2日	<p>地域住民らが空き家への市の対応を知ることが出来た。 検討したのち、市民委員会で話し合い、空き家等に関して活動する「ペーパー」の未来を育てる会」が発足された。</p> <p>今後 その会を中心として空き家等の課題について検討と実践を行っていく。</p>	中村氏
新規	⑤ 地域検討部会「のリタク利用促進」	<p>現在 のリタクは地域には絶対的に必要なものと思うが、利用する人が限られている。赤字続き・いつ無くなるか分らないといった現状。</p> <p>課題 年に1回の都市計画課主催の意見交換会はあるが、実のあるものになっていない。 維持していくために住民らと何が出来るかを具体的に検討する場が必要と考える。</p>	R6年8月27日	<p>のリタクについて住民が市へたくさんの意見・要望を出すことが出来た。 「住民が実施すること」と「行政が実施すること」が見えてきた。</p> <p>今後 互いの具体的な取り組みを検討する。 2回目は12月予定。</p>	二階堂氏